

第641回

## I B C 番組審議会 議事録

— 議 題 —

「桜を感じて～視覚障がい高齢者施設の春」

2019年6月20日（木）

(株) I B C 岩手放送

## 第641回IBC番組審議会

1. 開催日時 2019年6月20日(木) 午前11時

2. 開催場所 IBCデジタルセンター3階Dホール

3. 委員の出席 委員総数 10名

出席委員 8名

出席委員の氏名

委員長 田代 高章

副委員長 熊谷 志衣子

委員 小松 務 宮 順子

栗田 均 佐藤 求

菅原 和彦 龍澤 尚孝

欠席委員の氏名 畠山 俊彰 澤口 たまみ

会社側の出席

鎌田 英樹 代表取締役社長

黒澤 秀之 取締役営業本部長

眞下 卓也 取締役メディア放送本部長

若槻 修 報道局長

熊谷 充代 ラジオ放送部長

神山 浩樹 アナウンス部専任部長

照井 達也 ディレクター

事務局 平澤 泰志 番組審議会事務局長

宿輪 智浩 番組審議会事務局員

4. 議題 IBC ラジオ「桜を感じて～視覚障がい高齢者施設の春」

【5/26(日) 午前11時00分～午前11時44分放送】

## 5. 議事の概要

### <委員の主な発言>

○視覚障がい高齢者のための施設が少ないことやどのようなサポートが必要なのか、様々な説明がなされ分かりやすい番組だった。アナウンサーが親しみのある口調で語りかけることで、利用者やスタッフの本音を引き出したのでは。

○「個人情報の保護」が障がい者の存在を把握する壁となっていることを改めて知り、行政も含めて考えていかなければならないと思った。視覚障がい者への支援拡充を訴える良い番組だった。

○障がいのある人たちの感性の豊かさを感じた。普段目から入ってくる情報が非常に多く、時には目を瞑って考えることも大事ではないかと思った。

○サポートするスタッフの説明が的確で、聴いていても弁当を囲んでの花見の光景が具体的に想像できた。このスタッフのような表現力やコミュニケーション能力を持つ人材を育成し、増やしていかなければならない。

○このような施設が県内に一つしかないということで、行政がどう取り組んでいるのかが気になった。施設に入れずに困っている人など、今後も様々な形で取り上げてほしい。

○視覚障がい高齢者に光を当てた番組で、地域に住む我々がもっと思いやりや気配りの心を持たなければならぬと感じた。

○ラジオ番組なので字幕が無い分、施設の名称「祥風苑」などの漢字の説明があれば良かった。

○県民や行政にさらに訴えるため、続編やテレビ番組化を期待する。